

施工業者様用

〈施工説明書〉

株式会社 **ウッドワン**

〒738-0023
広島県廿日市市下平良1-12-1

[商品相談窓口]

フリーダイヤル
0120-813-331

[受付時間] 平日8:30~17:00

[休日] 土日・祝日・GW・年末年始・夏期休暇

TGF
TGS

スライディングドア専用枠材

ピノアース ソフトアート

調整枠

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



禁止

・屋内専用。
屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進み、脱落の原因となり危険です。



必ずおこなう

・ビスはビス穴に取り付ける。
ビス穴加工以外の位置にビスを取り付けると、枠材に割れが発生し、扉の脱落の原因となり危険です。

・開梱後は換気を行なう。
本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。

・躯体接合金具の調整範囲は縦枠最大8mm上枠最大9mm。
調整可能範囲を越える場合は枠材がはずれる原因となり危険ですので、調整範囲を満たすように下地材などを入れてください。

・躯体に欠点がないことを確認する。
躯体接合金具を取り付ける際、躯体のビスのあたる部分に節や割れなどの欠点がある場合、金具が固定されず枠材がはずれる原因となり危険ですので、強固に固定できるように下穴や下地材を入れてください。

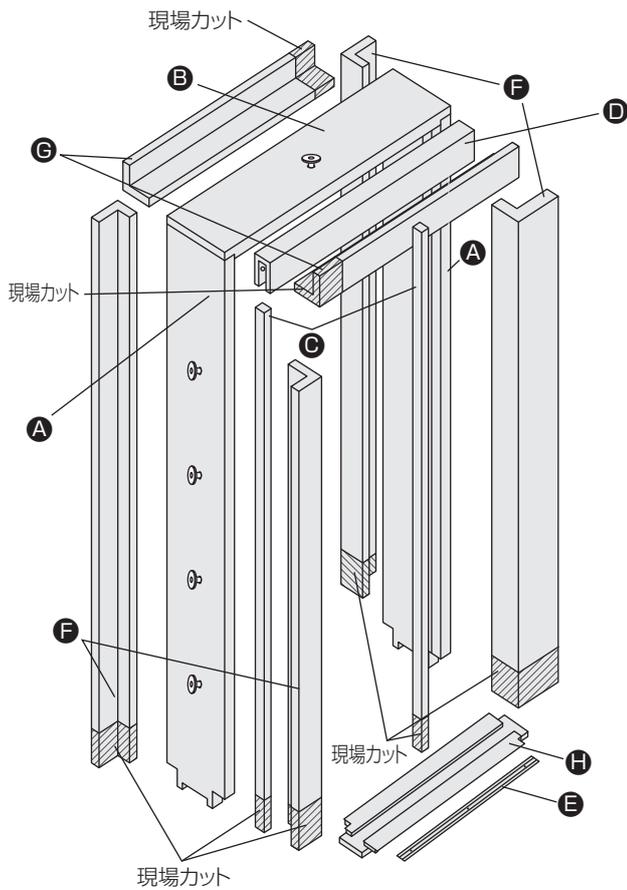
お願い

・施工完了までは、立て掛けたりすると反りの発生原因となりますので、水平になるように保管してください。
・照明灯・ストーブなどを近づけると熱により変色しますので、開梱後施工完了まで1メートル以上離してください。

開梱

梱包を開いたら枠材本体および下表の付属品に不足および問題がないかどうかを確認してください。

■ 全体図



■ 梱包内訳表

枠材本体

	部材名	数量	備考
A	縦枠	2本	正寸カット済、アーム受側×1、ラッチ受側×1
B	鴨居	1本	正寸カット済
C	縦枠用戸当り	2本	現場カット
D	鴨居レール	1本	専用ビス付(4本)
E	敷居用レール	1本	
	吊り車	1個	専用ビス付
	アーム	1本	専用ビス付
	ステー	1本	専用ビス付
	ピボット	1個	専用ビス付
	ブラケット	1個	専用ビス付
	専用スパナ	1個	
	組み立て専用ビス	4本	
	敷居専用ビス	4本	
	躯体接合金具用ビス	9本	
	ストレートレンチ	1本	
	木ダボ	2本	
	戸当りビス	10本	各色
	敷居レール用ビス	3本	
	躯体接合金具用キャップ	8個	
	施工説明書	1部	

金具セット

ビスセット

ケーシングセット(別梱包)

	部材名	数量	備考
F	縦枠用ケーシング	4本	現場カット
G	鴨居用ケーシング	2本	現場カット

下枠セット(別梱包)

	部材名	数量	備考
H	敷居	1本	正寸カット

お願い

- ・施工完了までは、立て掛けたりすると反りの発生原因となりますので、水平になるように保管してください。
- ・照明灯・ストーブなどを近づけると熱により変色しますので、開梱後施工完了まで1メートル以上離してください。

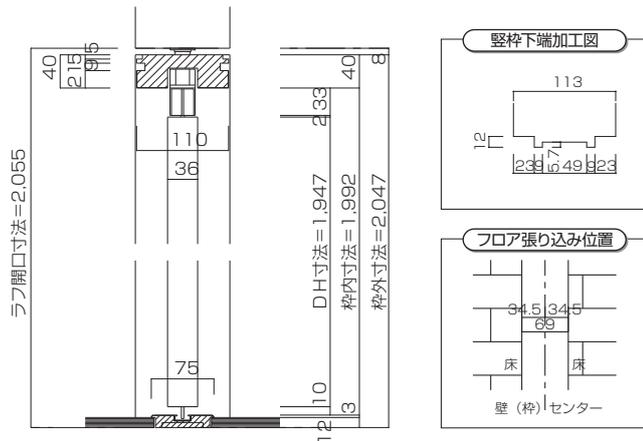
部材名	枠材本体		
	縦 枠	鴨 居	敷 居 <small>レール以外は別梱です</small>
断面形状			
長さ(mm)	2,028	DW703	759
	アーム受付/ラッチ受付	DW680	736
数量	各1	1	1

納まり図

枠本体に躯体接合金具が付いているため、下記のラフ開口に準じた施工をお勧めします。

■ 縦断面図

(単位:mm)

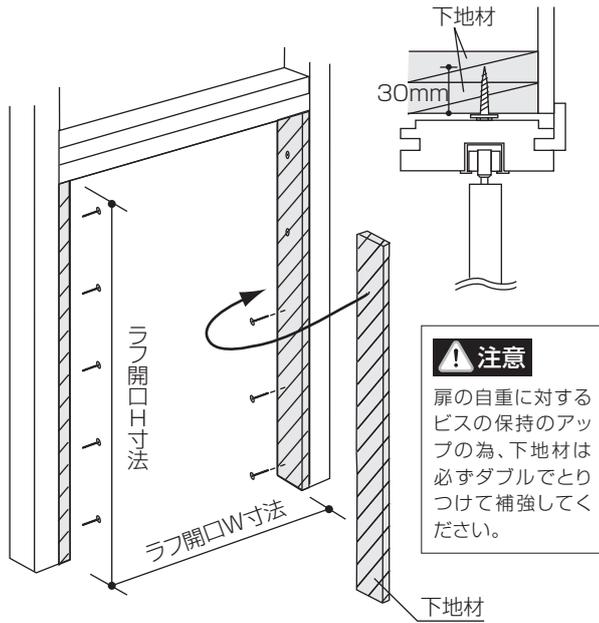


■ 横断面図

(単位:mm)



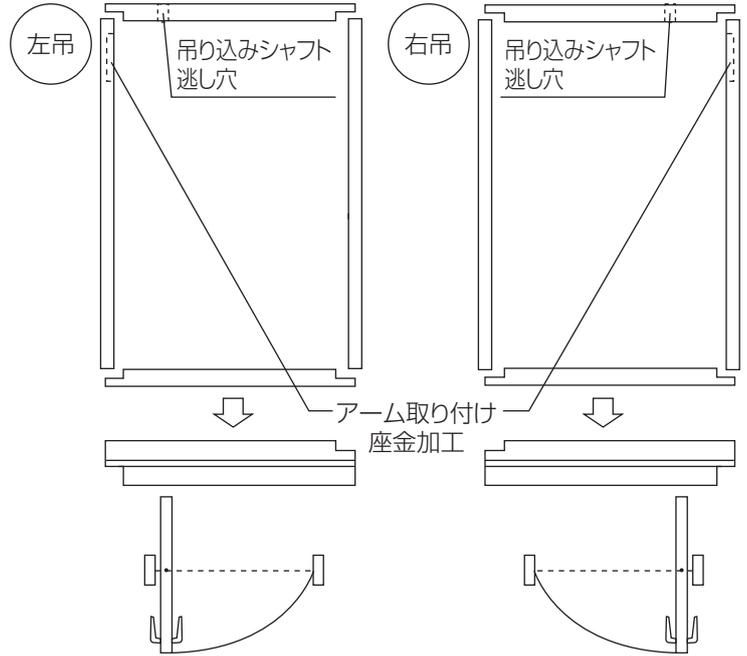
■ 取り付け開口部の確認



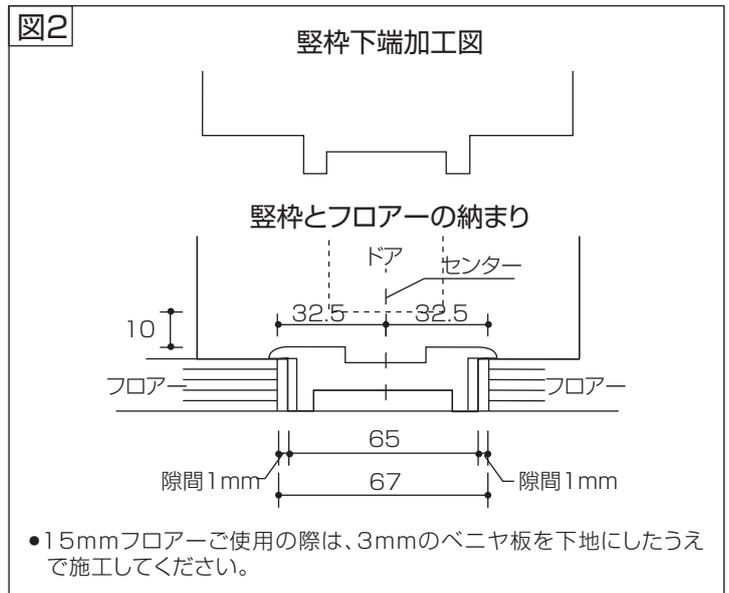
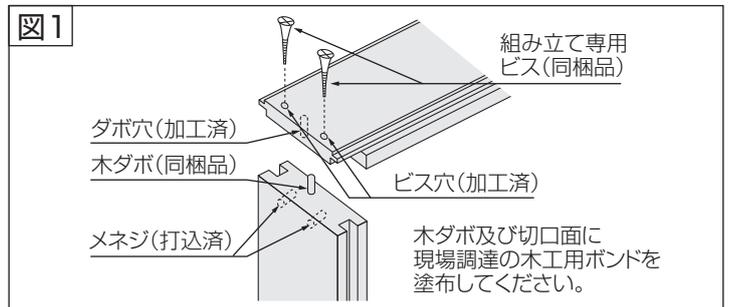
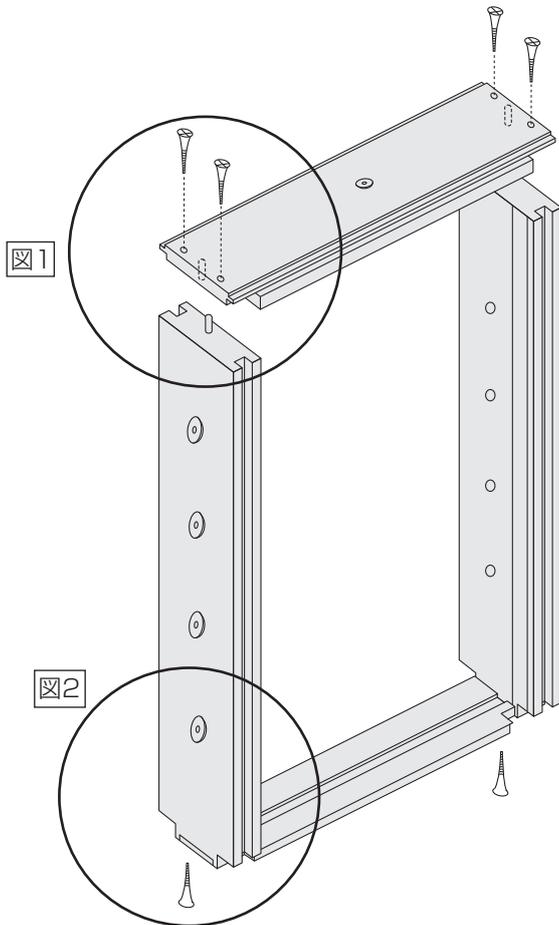
開口部に下地材を取り付け、納まり図参照の上、枠外寸法に見合ったラフ開口を設けてください。

■ 枠材の組み立て(前準備)

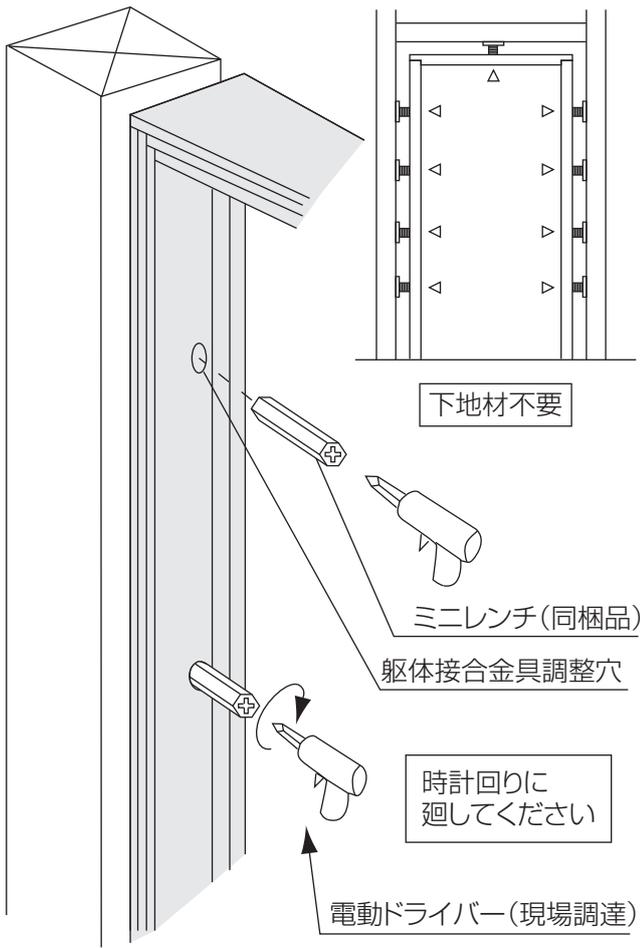
上枠にも左右がありますので、下図を必ずご確認ください。



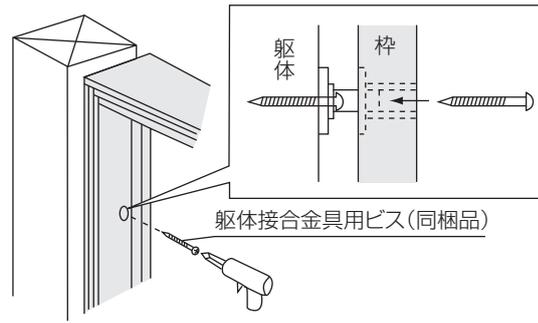
■ 枠材の組み立て(正寸カット済)



■ 枠材の仮固定

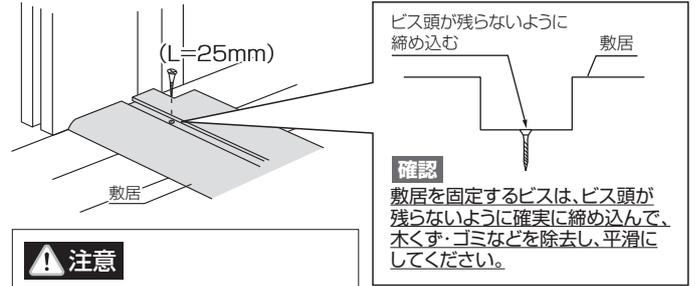


■ 縦枠の本固定



敷居と下地の固定

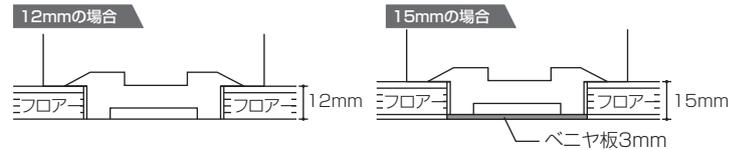
敷居は木工用ボンド(現物調達)と下枠固定ビスの併用で下地材に固定します。



⚠ 注意

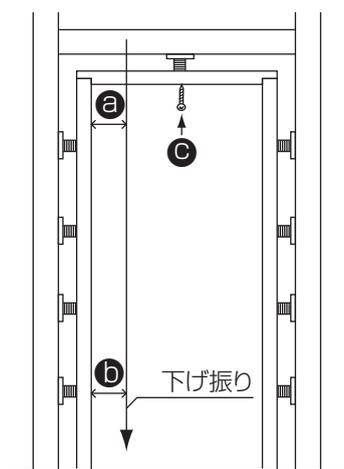
敷居はバリアフリー(埋め込み施工)となります。

フローアの厚みは12mmを基準にしています。15mmフローアなど12mm以上の厚みのフローアを使用の場合は、ベニヤ板などで高さの調整をおこなってください。

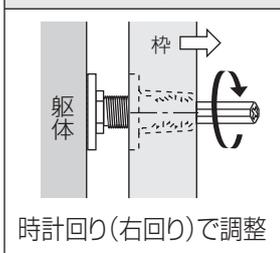


■ 建て付け調整ならびに鴨居の本固定

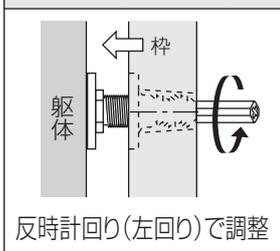
- a=bとなるよう調整してください。合わせて前後の建りも調整してください。
- cは建りを調整後、最後に固定してください。



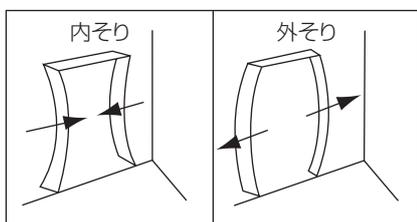
枠を内側に寄せる場合



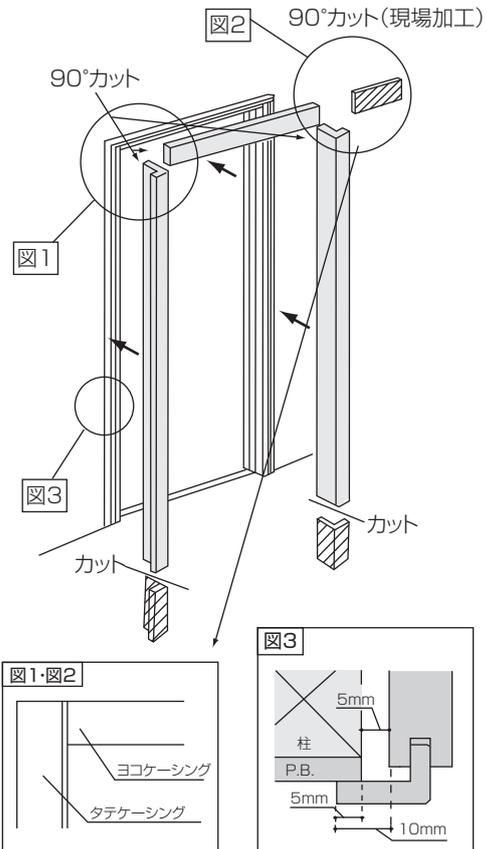
枠を外側に出す場合



※右記の様なおこなわないようご注意ください。



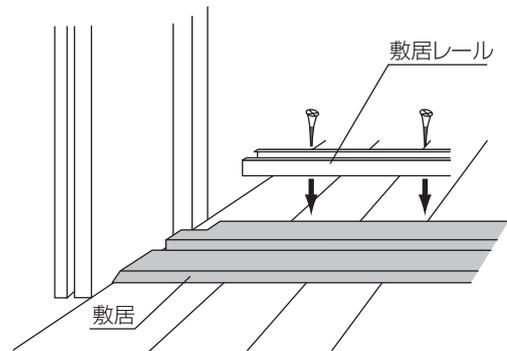
■ ケーシングの取り付け



■ 敷居レールの取り付け

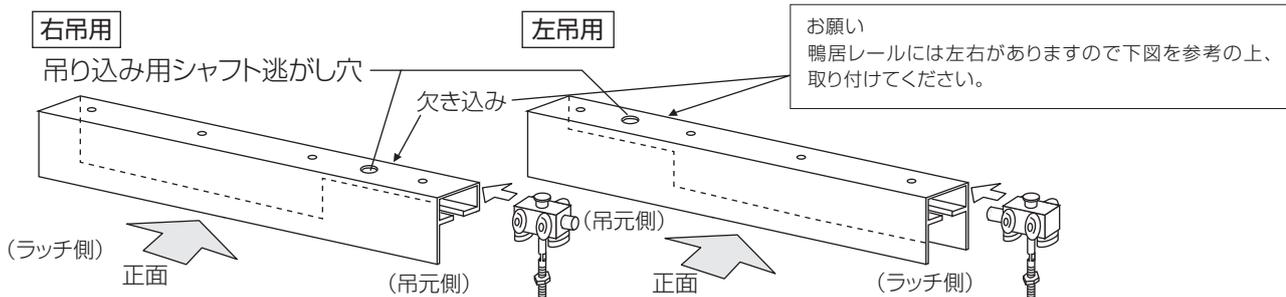
敷居レールをラッチ側に寄せ、敷居にビス(同梱品)で取り付けてください。

お願い
敷居端のツバ部分をたたくと割れるおそれがあります。
必ず敷居中央を目安にたたき込んでください。

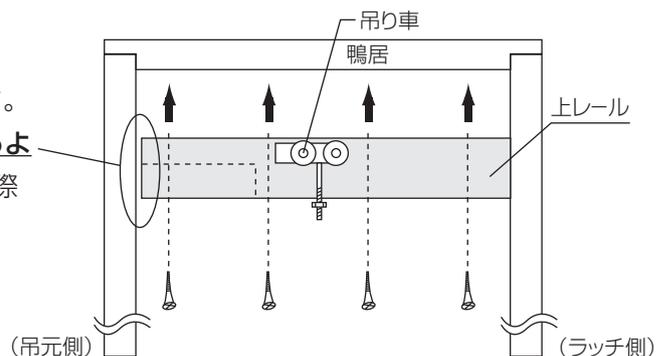


■ 鴨居レールの取り付け

吊り車をレールに挿入後、レールを鴨居にビスで取り付けます。



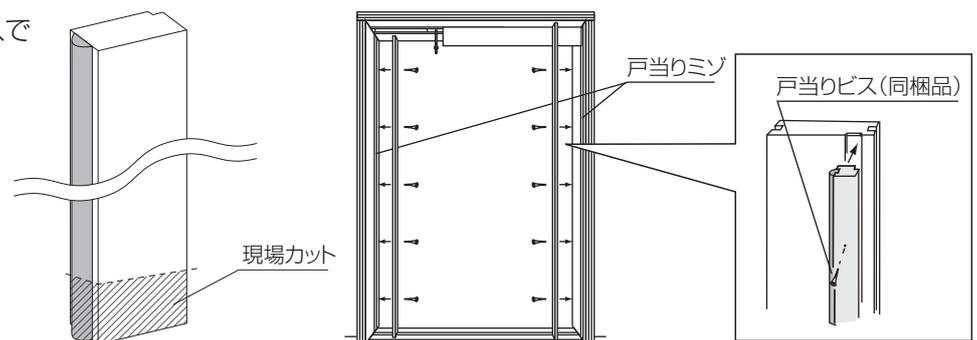
上レールは鴨居内寸法より3mm短かめに設定しています。
極力ラッチ側にレールを寄せて、**吊元側には隙間を設けるようにして**取り付けてください。アームの座金を取り付ける際に作業が楽になります。
(レールの隙間は戸当りでかくれて見えなくなります)



■ 戸当りの取り付け

戸当りを枠材の戸当りミゾにビスで固定します。

※アーム受座の取り付け、ステー受座の取り付けについてはスライディングドアの施工説明書をご覧ください。



施工終了後

■ 養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

■ お手入れのしかた

枠材が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。